



一般社団法人 福井県中小企業診断士協会

# 診断ふくい

第42号

<2025年2月発行>

〒910-0296 坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16 福井県産業情報センタービル 3F TEL: 0776-68-0170 FAX: 0776-67-7429  
ホームページ: <https://www.sindan-fukui.jp/> Eメール: [info@sindan-fukui.jp](mailto:info@sindan-fukui.jp)

## 「100年に一度のチャンスに、スピード感を持って臨む年に」



会長 川嶋 正己

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は当協会の事業活動に、ご理解とご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

昨年の能登半島地震、復旧途上の豪雨被害により亡くなられた方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

また、大変な状況の中で懸命に救助活動ならびに復旧活動に尽力されている皆様に対し、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は福井県にとって大きな区切りとなる北陸新幹線県内開業を迎えました。その効果は現時点では「まだら模様」というところのようですが、この機を「100年に一度

のチャンス」とするのは今年からが正念場となると思います。

当協会としても、観光産業化研究会を中心に「観光の産業化」の視点で調査研究、県内自治体への提案を行って参りました。その成果進捗は先の地方創生シンポジウムで発表させていただいたところです。

観光が裾野の広い「産業」として成長するための商品サービスの開発や事業計画作成支援を軸に、「地方創生シンクタンク」として福井県経済の活性化に貢献できることを引き続き目指していきたいと思っております。

また、眼前では物価の高騰や人手不足の深刻化など県内中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、中小企業診断士の能力発揮がまさに求められています。それに応えられる、会員の皆様一人一人の具体的かつスピード感のあるアクションにもご期待申し上げます。

コロナ禍も収束し、久しぶりに嶺南研修会が開催されるなど、例会を始め当協会の行事も従前の通り行えるようになりました。この一年余り、多くの新入会員にも入会いただき新しい仲間も増えています。新役員体制2年目となる今年は、会員の皆様の交流やスキルアップに繋がる活動を、こちらこそスピード感を持って進めていきたいと考えています。皆様の積極的なご参加、ご協力を心よりお願い申し上げます。

# 協会活動の紹介

## ◆地方創生シンポジウム（11月）

日時：令和6年11月8日（金）14:00～16:30

場所：福井商工会議所（福井市西木田）

参加者数：76名



11月4日の中小企業診断士の日に合わせ、11月8日に当会主催で地方創生シンポジウムを開催しました。

今回のシンポジウムでは、「～地域との連携～100年に一度のチャンスをつかむ観光の産業化」をテーマに各自治体の担当者の方々にもご登壇いただき、3市の事例を紹介しました。

### 【事例発表1：敦賀市の観光活性化への提案『100年に一度のチャンスをつかむ』】

令和元年度に敦賀市の観光活性化に向けて当協会が提案した「魅力ある地域の今後の整備」を始めとした六つの提案内容の紹介と敦賀市での取り組みを紹介

### 【事例発表2：坂井市の観光活性化への提案『観光の産業化から持続可能な地域へ』】

令和5年度に坂井市の観光活性化に向けて当協会が提案した「坂井市を訪れるきっかけをつくる」を始めとした五つの提案内容の紹介と坂井市での取り組みを紹介

### 【事例発表3：大野の逸品創出事業『高くても売れる！観光客をつかむ商品づくり』】

これまで「稼ぐ力」の向上に向けて実施してきた大野市との取り組みを始め、今年度、高速交通網の延伸を生かした稼ぐ力の促進に向け実施している「大野の逸品創出事業」での当協会の関わりを紹介

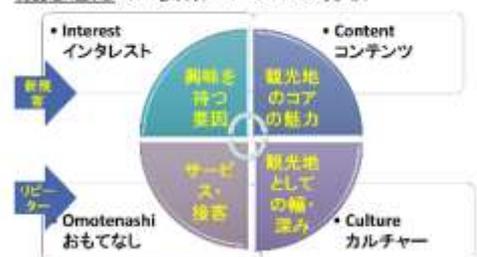
ご参加いただいた方々からは、「それぞれの地域における ICCO 分析が参考になった。」「好事例をいくつも伺いすることができ、大変勉強になりました。また、当市の抱える課題との共通点もあり、今後参考にさせていただきたいです。」「診断士ならではの地域活性化の活動は福井県の将来が楽しみに感じるものでした。継続的にこういった取り組みをお願いしたいと思います。」など、大変うれしいご感想をいただきました。

来年も皆様に喜ばれるシンポジウムを開催できるよう検討を重ねてまいります。

### ICCO 分析とは？

ICCO 分析とは、観光地としての実力＝“観光地力”を4つの要素①「Interest（インタレスト）」②「Content（コンテンツ）」③「Culture（カルチャー）」④「Omotenashi（おもてなし）」に分解して分析するフレームワークです。

### 観光地力の4要素：ICCO分析



## ◆嶺南研修会（12月）

日時：令和6年12月7日（金）14:00～

場所：株式会社日本ピーエス（敦賀市若泉町）他

参加者数：18名

新型コロナウイルスの影響もあり、活動休止しておりました嶺南部会ですが、数年ぶりの開催となり当日は18名の方に参加いただきました。



### 【イベント1：株式会社日本ピーエス・見学会】

福井中小企業診断士協会のメンバーでもある高木陽氏（株式会社日本ピーエス）の取り計らいにより、株式会社日本ピーエスの事業概要説明と社内見学の機会をいただきました。

創業者である有馬義夫氏が、プレストレスト・コンクリート（PC）技術の特殊性と将来性にいち早く着眼。日本初のポストテンション工法によるPC橋「十郷橋」（福井県坂井市）を完成させて以降、これまで全国各地で16,000橋を超える橋梁づくりに携わっておられます。

見学会では、創業以来の歩みやPC技術について詳しく解説をいただき、参加メンバー同大変勉強になりました。

### PCとは？

PCは、プレストレスト（Prestressed）コンクリート（Concrete）の略称で土木や建築の世界で使います。PCは、いろいろな言葉と組み合わせで「PC構造物」、「PC橋」、「PC建築」などという使い方をします。PCは、鉄筋コンクリートに比べると、ひび割れが発生せず、水密性に優れています。また、鋼部材と比べると、塗装の必要がなく、ライフサイクルコストに優れています。

### 【イベント2：講演「ふくい新時代」の幕開け～北陸新幹線・敦賀開業～】

藤本 真也様（福井県未来創造部新幹線・交通まちづくり局 副局長）より、北陸新幹線敦賀延伸に伴う開業効果に関し、詳細な解説をいただきました。

開業後8か月間の状況としては、全体で約2割の増加。中でも関東圏は、4割増。信越に関しては、8割増と来訪者が大きく増加。恐竜博物館を含む主要観光地も軒並み二桁増と好調を維持しているとのこと。課題である二次交通の整備や各観光地の魅力度向上に向けた施策、北陸新幹線全線開業による効果など、幅広くご説明いただきました。

現状、全線開通予定は25年後とのことでしたが、新たな福井のまちづくりに向け、我々中小企業診断士も、県内中小企業の取り組みを支援していく必要性を強く感じました。

### 【イベント3：講演「敦賀市における北陸新幹線敦賀開業の対応状況と波及効果」】

小川 明様（敦賀市まちづくり観光部長）より、敦賀市における北陸新幹線敦賀開業に向けた取り組みに関し、敦賀駅周辺の整備事業（土地区画整理、福井大学研究所誘致、駅交流施設オルパーク整備等）を中心に解説をいただきました。

市民の声を丁寧に拾い、整備事業に反映するよう心掛けることで、県外客をもてなすだ

けでなく市民が集う敦賀駅前を実現したという所に感銘を受けました。

イベント後は、会員全員で敦賀駅舎を見学する機会をいただきました。乗り継ぎなどの際は、なかなか落ちてみられない展示物や構造物、大画面ビジョンなどもゆっくり拝見することができ、大変貴重な機会となりました。

## 委員会活動報告

### ◆事業推進委員会

従来に引き続き支援機関等との連携・交流を図り、受託事業の維持拡大と継続的で安定的な活動実施に向けて、広く営業活動を推進します。

コロナ禍により業績の回復が遅れている企業の様々な課題について、金融機関および支援機関と連携し、経営の改善を積極的に取り組んでいきます。

また、中小企業の大きな課題の一つである「事業承継」の支援に関しては、福井県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業引継ぎ後の組織統合（PMI）に向けた支援を展開します。

各方面からは、「専門の異なる複数の診断士に関わってもらうことで、相談することに安心感や期待感がある」、「同時にいろいろな角度からの意見が聞けてスピード感がある」という意見をいただいております。

今後は、多彩な専門分野・得意分野を有する中小企業診断士が所属し、豊富な事例とノウハウを有する「福井県中小企業診断士協会」の総力を結集し、様々な問題を解決していきたいと思っております。



委員長 竹内 真一

### ◆事業企画委員会

事業企画委員会では、今年度も11月4日の中小企業診断士の日に合わせた「地方創生シンポジウム」を11月8日に開催し、76名の方々にご参加をいただきました。

また、2月4日には、女性活躍最前線セミナーを開催し、福井県未来創造部女性活躍課の田中智美課長から福井県が進める女性活躍と支援制度のご説明、県内企業事例として、東洋染工株式会社様、株式会社ワカヤマ様、株式会社サカイエステック様からは、各社の取り組みをお聞かせいただきました。セミナー終了後には個別相談会も実施し、当協会会員が相談に対応させていただきました。

今後も県内中小企業の皆様のお役に立てる事業を企画していきたいと思っておりますので、ご意見をお寄せください。



委員長 白崎 貴之

## ◆総務・コンプライアンス委員会



総務・コンプライアンス委員会では、これまで事務局体制の整備を図ってきました。

昨今の人手不足の経営環境において属人化は大きなリスクになり、我々中小企業診断士はその解消を支援する立場にいます。協会事務局においてもデータベースの整備、業務マニュアル作成、ITツールの活用により、属人化解消や業務効率化を進めています。

今年度は協会事務所をふくい産業支援センター内に移転しましたが、大きなトラブルもなく運営出来ていることもその成果だと感じています。これからも、持続可能な事務局体制の整備を進めていきます。

委員長 松田 博史

当協会では受託事業に参加される方に対して、Eラーニングを活用したコンプライアンス研修の受講を義務付けています。法令順守はもちろんのこと、情報セキュリティに対する啓発も行うことで、安心して業務を依頼いただける体制づくりをしています。

## ◆広報委員会

広報委員会では、経営コンサルタントとして唯一の国家資格である中小企業診断士の認知度向上を図るため、協会活動に関する情報発信・開催報告を継続して行ってまいります。

厳しい経営環境が続く県内中小企業経営者の支援者である中小企業診断士の具体的な取り組みについても、セミナーやシンポジウムなどを通じ伝えていきたいと考えております。

私自身、創業、事業承継、M&Aなど中小企業診断士の活躍の場が広がっているのを感じております。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



委員長 佐藤 さとる

<事業>

- ・協会活動の情報発信（ホームページ、SNS等）
- ・協会機関紙「診断ふくい」の発行と関係機関への配布（年2回）

## ◆例会・研修委員会



委員長 大森 健

例会委員会では会員の方々向けの新しい知識のインプットとアウトプットの場として活動を行っております。

そのような中、昨年10月の例会は、リアルとネットのハイブリッド方式により26名の方に参加頂き、企業内診断士の方からも要望が多かった、小規模事業者向けのSNSの活用をテーマに、GARAN ASSOCIATES 代表 吉田 直哉氏にご講演をいただきました。

主要なSNSの特徴など基礎的な知識だけでなく、効果的に活用するには、自社の強みの整理やカスタマージャーニーの設定の重要性などがよく理解できました。

診断士としては、事業者が軽視しがちなマーケティングについて、しっかりとアドバイスすべきと感じた研修会でした。

今後、「会員の方々のITリテラシーの向上を図る為の勉強会」や北陸新幹線の敦賀延伸から間もなく1年が経過しますが、「延伸後の福井県経済への効果と課題」についての研修会を開催予定です。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

## ◆資格更新委員会

理論政策更新研修を8月31日(土)に、福井市の福井商工会議所ビル・コンベンションホールにて、会場出席76名、オンライン出席51名の計127名の受講のもと開催いたしました。

今回は4名の講師をお迎えし、それぞれのお立場から「福井県の経済雇用情勢および主な企業支援について」(中小企業施策)、「新幹線開業をチャンスに！日本最古の雲丹商が取り組む新たな価値創造」(イノベーション活動)、「理解しながらひとつずつ歩む」(人材戦略)、「町の鉄工所がテーマパークに？常識を覆すイメージ再構築経営」(事業再構築)をテーマにご講演いただきました。

また、今年も会場とオンラインのハイブリッド形式で開催させていただく予定です。多くの皆様のご受講をお待ちしています。



委員長 永田 幸也

### 【理論政策更新研修 開催予定】

日時：令和7年9月6日(土) 8:20~13:00

会場：福井商工会議所ビル(福井市西木田)

(オンライン受講も可能です)

## ◆観光産業化研究会

【共同代表 峠岡 伸行・川嶋 正己】

昨年11月に開催した「地方創生シンポジウム」では、これまで研究会として提案をとりまとめてきた敦賀市、坂井市、大野市の皆さんとともに、提案内容や連携した取り組みについて発表を行う機会を得ることができました。皆様ご協力ありがとうございました。

令和6年は、北陸新幹線の県内開業という福井県の観光産業にとって大きなチャンスを得ましたが、これによって新たな課題も見えてくると考えていますので、今後はこれらを把握し、次なる研究活動に繋げていきたいと考えています。

今年度は9名の会員の皆さんに研究会に参加いただき、次年度に掛けて、「眼鏡の街として鯖江が全国的に知名度を高めた取り組みの検証（他の工芸産地へのモデルに）」を研究テーマに掲げ、眼鏡業界や鯖江の取り組みの調査を踏まえて、県内の各工芸産地への提案に取り組みたいと考えています。

大野市、敦賀市での観光の産業化に向けた当協会とのタイアップによる取組みを、他の自治体への横展開を加速できればと考えておりますので、まずはお気軽にご相談ください。

## ◆事業承継研究会

PMI勉強会・親族承継セミナー（2回）を実施いたしました。中小企業診断士による事業承継支援の拡大という目的のため、勉強会・セミナーともに研究会メンバーに限らず、全会員を対象に実施し、27名のご参加をいただきました。

- ・PMI勉強会（9月26日）

講師：弁護士法人しょうぶ法律事務所

弁護士 山田 尚武氏

事例発表：福井県中小企業診断士協会 会長 川嶋正己

- ・親族承継支援スキルアップセミナー

（1月15日、2月19日）

講師：株式会社ジリリータジャパン

中小企業診断士 鹿島 清人氏



委員長 佐々木 孝美

連携している福井県事業承継・引継ぎ支援センターでは、親族承継計画の作成支援ができる診断士を必要としています。親族承継支援スキルアップセミナー終了後、アナウンスをしたいと考えております。

## 新 入 会 員 紹 介



**永田 浩樹**  
(ながた・ひろき)

皆様、はじめまして。永田浩樹と申します。

令和6年に中小企業診断士資格を取得し、この度福井県中小企業診断士協会に入会いたしました。越前市出身の46歳で、現在も越前市に在住しております。

これまで医療・介護の現場に16年間従事し、現在は従業員85名を擁する介護施設運営会社「サンライフ小野谷」にて事業統括を務めています。

これまでの経験を活かし、高齢者向けビジネスのコンサルティング（高齢者向け製品開発や市場開拓の支援）を通じて、中小企業の経営課題解決に貢献したいと考えています。

まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



**中野 慧**  
(なかの・けい)

昨年8月に入会した中野慧と申します。福岡出身で、東京、フランス、千葉、神奈川と移り住み、子どもの小学校進学を機に2023年に永平寺町に移住しました。

キャリアの軸は農業で、種苗メーカーの海外営業と農業経営コンサルティング会社を経て独立しました。現在は県外での仕事ですが、微力ながら県内の企業に貢献したく、入会しました。

上場企業の新規事業創出支援や売上数億円規模の小規模法人の支援をしてきまして、対象が両極端なので、経験の幅を広げたいと考えています。みなさまから学ばせていただきながら、成長していければと思っております。関心のある分野は組織開発、輸出、IT、工芸・文化などです。どうぞよろしくお願いいたします。



畑守 毅彦  
(はたもり・たけひこ)

はじめまして。2019年に資格登録し、昨年県協会に入会した畑守 毅彦と申します。比較的少ない苗字ですが、実はこの苗字が日本で一番多いのが福井県です。私自身は他県生まれ他県育ちですが、父が敦賀出身で、私も長期休暇は父の実家で過ごしていました。

仕事では関西系の鉄鋼メーカー及び関連会社に約 35 年勤務し、うち 25 年以上人事関連業務に携わり、人事制度をはじめほぼ全ての人事機能を経験しました。

2021年に独立し、現在は大阪、兵庫で人事制度の構築や人材育成を中心に活動しています。独立して3年、活動範囲を広げたいと考え、なじみのある福井県の協会に入会させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

## 編 集 後 記



広報委員長として2回目の診断ふくい(第42号)を担当しました。令和6年は、地方創生シンポジウムへの登壇含め、個人的にも初めての取り組みが多い年となりました。

若い新しいメンバーがどんどん協会に入ってくれておりますので、良い刺激をいただきつつ、私自身も今年一年がんばって参ります。

当協会では引き続き、Webサイトやfacebookページなどを通じ、情報発信してまいります。今後に向けた幅広いご意見・ご要望を、心よりお待ちしております。

[ホームページ](#)

[facebook](#)

